

令和7年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

呉中央中学校区 校番13 呉中央中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	継続した目標であり、指標の設定が適切にされている。 中学校は心身ともに急速に成長する時期であるので、メンタル面の指導を特に大切にしてほしい。
目標達成のための方策の適切さ	A	よく吟味して実行されている。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	分析が適切にされている。メディアコントロールについて、生徒への指導と家庭の協力を得ながら継続することが必要である。
今後の改善策(案)の適切さ	A	中学校卒業後の進路先での足場作りが大切な時期なので、改善策を継続して行うことが大切である。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・課題によっては、家庭の協力によって教職員の負担が軽減されると考えられるので、PTAとの連携が大切である。 ・中学校では進路決定の時期でもあるので、その体制づくりが大切である。自身のメンタルコントロール等についても学ぶ機会が必要である。 ・人生において最も多感でエネルギッシュな時代に良い経験を積み、失敗から学び、成長して欲しい。 ・自主的にボランティア精神が生まれる環境づくりもお願いしたい。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や行事への取組等を通して、自己有用感と自尊感情を高め、さらに新しく何かを創造する実践力を高めていく。 ・Qubena(タブレットドリル)タイムなどを効果的に活用し、基礎基本の力や発展的な力など個に応じた力を伸ばしていく。 ・呉中央スタンダード(連絡ノート)や試験計画表等を活用して、教師が生徒の家庭学習の状況を把握し、適切な指導を行っていくとともに、生徒の小さな変化も見逃さず、揺れ動く心の変化をしっかりと捉え、教職員がチームとして一人一人の生徒を支える体制づくりを進めていく。
--------------------	--